

白方
地区版

原子力災害に備えた東海村住民避難計画

原子力災害に備えた東海村住民避難計画とは？

さまざまな原子力施設を抱える東海村として、原子力災害が発生した場合に備え、避難や屋内退避の方法などを定めた計画です。
原子力災害が発生した場合には、初動（最初にどう動くのか）が最も重要です。

原子力災害時における
初動を理解する上での
ポイント

- 原子力施設の原子力災害対策重点区域（原子力災害のハザードエリア）
- 施設ごとに異なる「避難」や「屋内退避」の考え方
- 避難が必要となった場合の避難先

詳しくはこちらから
住民避難計画に関するQ&A
／東海村公式ホームページ



原子力災害対策重点区域

原子力災害対策
重点区域は
裏面の地図でも
確認できます。

PAZ (予防的防護措置を準備する区域)
放射性物質が放出される前の段階から避難
などを実施

UPZ (緊急防護措置を準備する区域)
放射性物質が放出される前の段階に屋内退避、地域の空間
放射線量率の状況によって避難などを実施

施設名	PAZ	UPZ
日本原子力発電(株)・東海第二発電所	半径約5km (村内全域)	半径約30km
原子力科学研究所・JRR-3		半径約5km (村内全域)
核燃料サイクル工学研究所・東海再処理施設		半径約5km (村内全域)
三菱原子燃料(株)・加工施設		半径約1km (舟石川一区、船場区、外宿一区)
原子燃料工業(株)東海事業所・加工施設		半径約500m (押延区、緑ヶ丘区、須和間区、川根区)

東海第二発電所で事故が発生した場合
には避難をします。

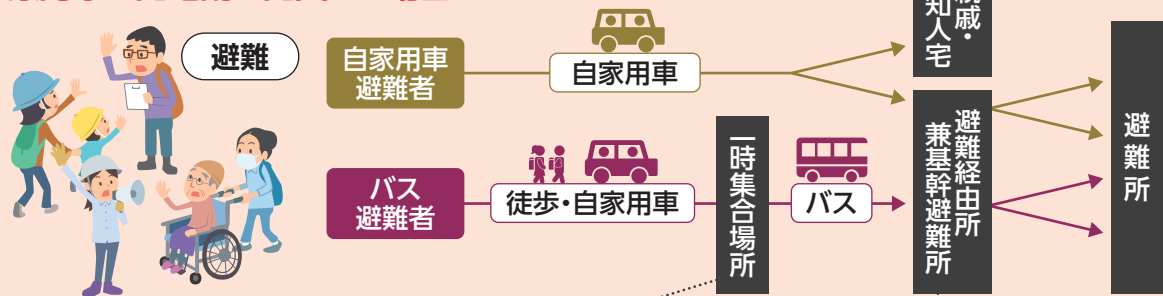


原子力科学研究所 JRR-3 などで事故が発生した場合には
屋内退避をし、必要に応じて避難をします。



「避難」や「屋内退避」

東海第二発電所で発災した場合



一時集合場所（コミュニティセンターなど）

自力で避難できない村民がバス等で避難を実施するために、避難者が集合する施設。

避難経由所兼基幹避難所

開設準備ができた避難所に避難者を案内するための、避難先でランドマークとなる施設。

JRR-3、東海再処理施設などで発災した場合



※ 原子力施設から放射性物質が放出され、空間放射線量率が基準値を超えた場合には、避難を実施します



避難が必要になった場合の避難先

住所
電話番号

行政区（住所） 次の住所の方が対象	東海第二発電所での発災時		JRR-3・東海再処理施設での発災時	
	一時集合場所	避難経由所	一時集合場所	避難経由所兼基幹避難所
白方区 (白方, 白方中央1丁目, 白方中央2丁目)	白方コミセン	つくばみらい市役所伊奈庁舎 つくばみらい市福田195 0297-58-2111 つくばみらい市役所谷和原庁舎 つくばみらい市加藤237 0297-58-2111 ※カーナビでの電話番号検索では伊奈庁舎が案内されるため、ご注意ください。	白方コミセン	生涯学習センター 常陸太田市中城町3280 0294-72-8888
豊岡区 (豊岡)	白方コミセン		白方コミセン	
岡区 (豊岡, 石神内宿)	石神コミセン		石神コミセン	
百塚区 (豊岡, 東海1丁目, 東海2丁目, 豊白1丁目)	東海中学校		東海中学校	
亀下区 (亀下, 石神内宿)	石神コミセン		石神コミセン	
豊白区 (白方, 豊岡, 豊白1丁目)	東海中学校		東海中学校	
村松北区 (村松北1丁目, 村松北2丁目, 村松)	東海中学校		東海中学校	

- 基幹避難所
- ◎ 茨城県設置放射線測定局
- 公共施設及びその他の施設
- 原子力事業所

  =バス避難に係る一時集合場所

行政区の区割り図は、
おおよその目安となります。



原子力災害時における住民広報

原子力施設で事故が発生した場合、原子力事業者から国、県、市町村、関係機関に対し、「通報連絡」が行われ、村では、原子力事業者からの通報連絡を踏まえ、緊急速報メール（エリアメール）のほか、防災行政無線放送や村公式ホームページ、村公式SNSを用いて災害情報のお知らせや避難の呼びかけなどを行います。

原子力災害時における住民広報／東海村公式ホームページ



原子力災害時における非常用持ち出し品の例

災害時は慌てていることも多く、持っていく物を冷静に準備することが難しくなります。迅速な避難を実施するため、日頃から非常時持ち出し品を備えておきましょう。

原子力災害時における非常用持ち出し品の例／東海村公式ホームページ

